

日本海沿岸東北自動車道(朝日～温海) の計画内容

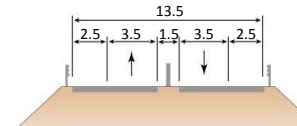


一般国道7号（日本海沿岸東北自動車道）朝日温海道路

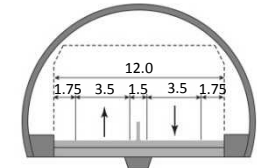
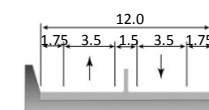
- ・起 終 点：新潟県村上市川端～山形県鶴岡市大岩川
- ・延 長 等：40.8km（うち、新潟県側34.1km）
- ・全体事業費：約1,900億円
- ・構造規格等：第1種第3級、2車線、設計速度80km/h

標準断面図

【一般部 W=13.5m】



【橋梁部 W=12.0m】



日沿道の整備により期待される効果①



安定的な物流ルート確保と拠点間の交流支援

道路の通行止めに伴う時間ロスを回避するとともに、日本海側の拠点都市、拠点港間を連絡

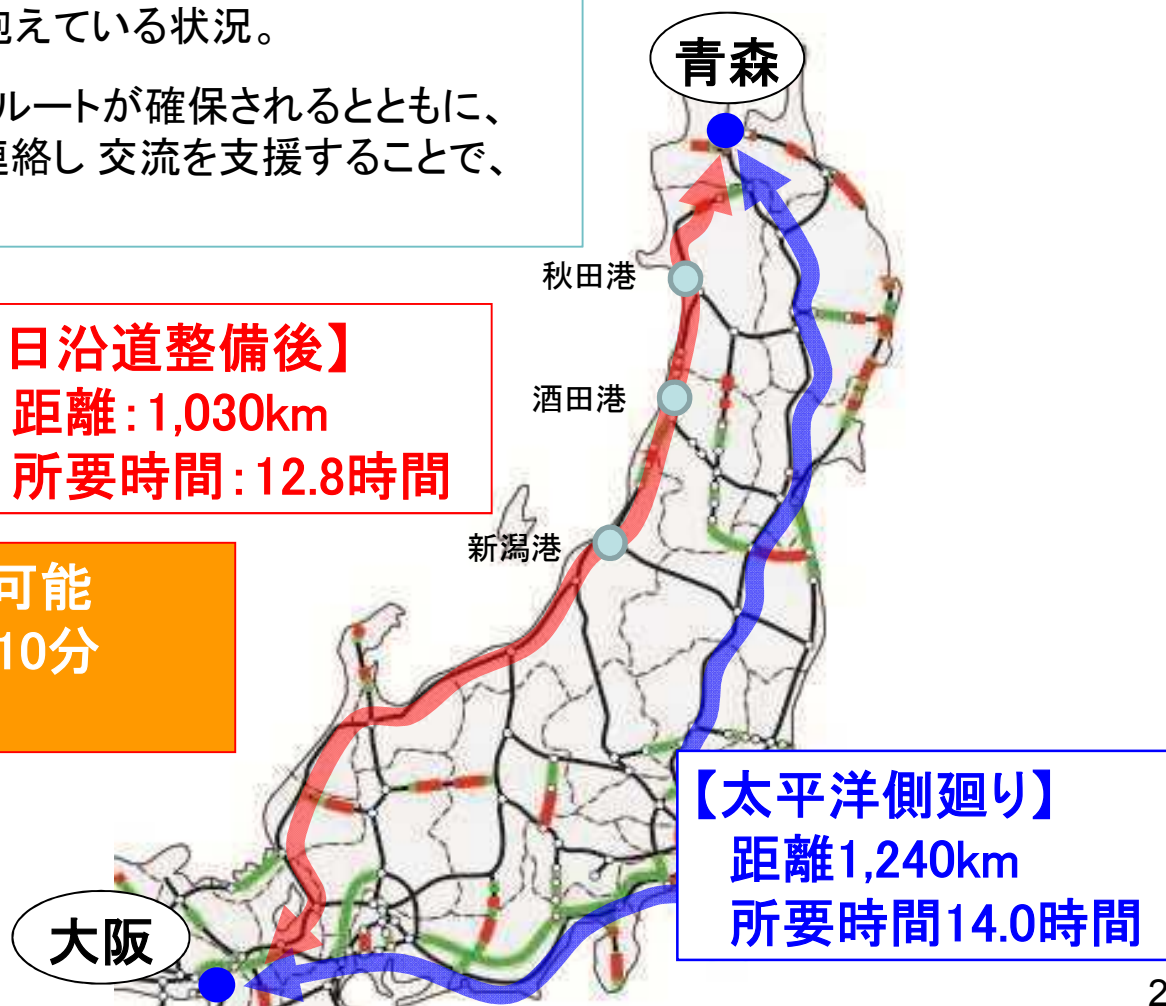
- ・ 国道7号の通行止め時には、大きな時間ロスが生じることから、物流企業などは物資輸送に不安を抱えている状況。
- ・ 日沿道の整備により、安定的な物流ルートが確保されるとともに、日本海側の拠点都市、拠点港間を連絡し 交流を支援することで、国際競争力の向上が期待。

【日沿道整備後】

距離: 1,030km

所要時間: 12.8時間

- 太平洋側との相互補完が可能
- 太平洋側ルートより1時間10分早い(青森～大阪間)



日沿道の整備により期待される効果②



災害に強い道路ネットワークの確保

大雨や越波等、
災害時の道路ネットワーク寸断を回避

- ・新潟・山形県境地域の主要幹線道路である国道7号は、大雨による土砂崩れや越波等の災害、交通事故による通行止めが過去10年間（H14～H23）で30回発生。
- ・日沿道の整備により、国道7号の通行止め区間が回避され、災害に強い道路ネットワークが確保。



日沿道の整備により期待される効果③



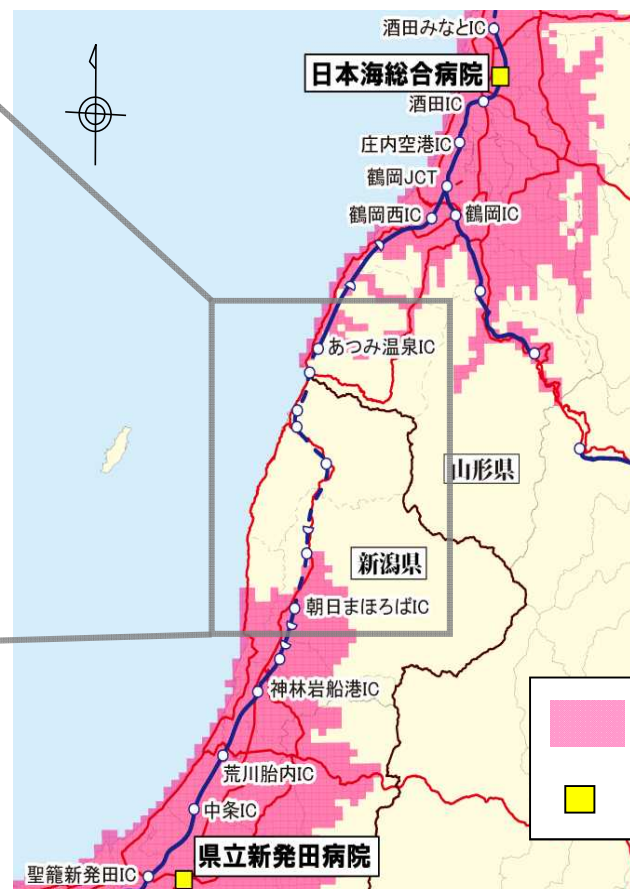
救急医療活動の支援

第三次救急医療施設までのアクセス改善

- ・新潟・山形県境地域では60分で第三次救急医療施設に到達できない地域が広く分布。
(村上市、鶴岡市の人口20.5万人に対して、圏域外人口は約1.3万人。)
- ・日沿道の整備により、当該地域から第三次救急医療施設までの搬送時間の短縮、安定走行による患者への負担軽減、搬送時の信頼性向上が期待。

【新潟・山形県境地域の第三次救急医療施設60分圏域】

県境部付近で
60分で病院に到達で
きない地域が
広く分布



<アンケート※で寄せられた意見>

- ・国道7号が災害や事故になると寸断される
ので、救急搬送も出来なくなる

※ 日本海沿岸東北自動車道「朝日まほろばIC（仮称）～温海IC」間における
新たな高速道路の計画に関する意見募集アンケート（H23.11）

日本海沿岸東北自動車道の開通による効果

- 平成23年3月27日 日本海沿岸東北自動車道(神林岩船港～朝日まほろば)延長13.3kmを開通
- 震災で増大する交通量が日沿道に転換し、村上市街地の渋滞が緩和

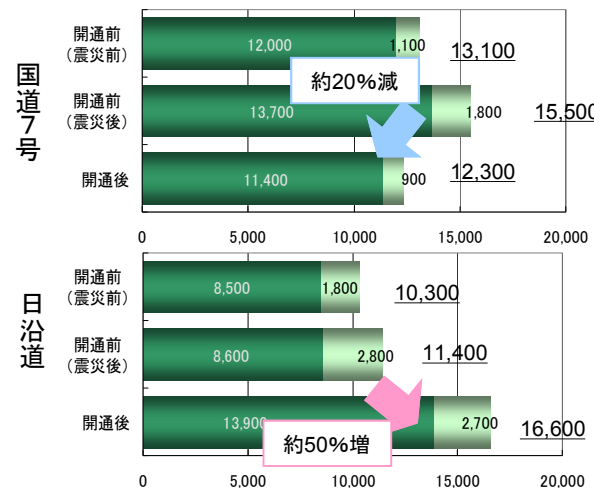


大型車等の通過交通で混雑する
村上市街地(国道7号)



大型車の減少傾向が見られ、渋滞が
緩和した村上市街地(国道7号)

交通量の変化(荒川断面)

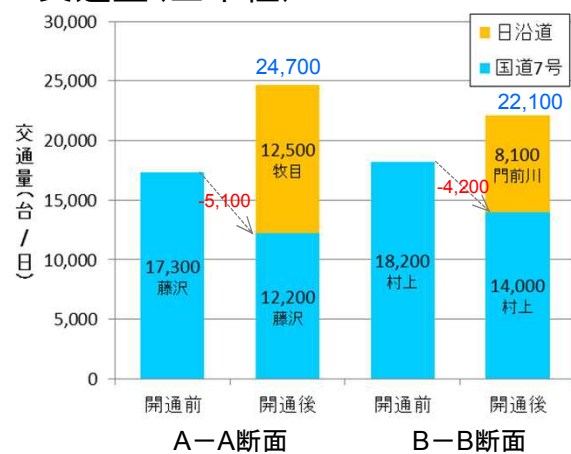


災害支援車両をはじめとした、大型車
等が開通した日沿道に転換

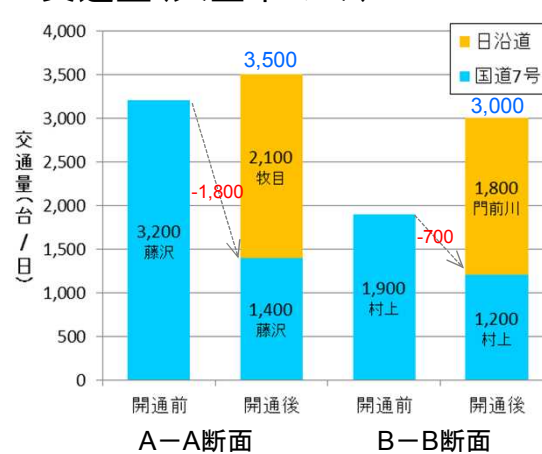
日沿道 荒川IC～朝日まほろばIC間(新直轄区間)開通による国道7号の交通量・事故率の変化



交通量(全車種)



交通量(大型車のみ)



死傷事故件数・事故率

	開通前	開通後	増減
事故件数(件/年)	61	32	-29 (約48%減少)
事故率(件/億台km)	49.6	33.5	-16.1 (約32%減少)

※事故件数・事故率は村上市十文字交差点～猿沢交差点間の全線開通前3年、全線開通後2年の平均値